

わたしたちは
全然大丈夫
じゃない。

ぬいぐるみと しゃべる人は やさしい

細田佳央太 駒井蓮

新谷ゆづみ

細川岳 真魚 上大迫祐希 若杉風

天野はな 小日向星一 宮崎優 門田宗大 石本径代 安光隆太郎

第18回大阪アジア映画祭
コンペティション部門

監督：金子由里奈『21世紀の女の子』『眠る虫』

原作：大前栗生「ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい」(河出書房新社刊)

音楽：ジョンのサン 主題歌：わがつま「本当のこと」(NEWFOLK)

脚本：金子鈴幸・金子由里奈 撮影：早見優子 録音：五十嵐猛吏 照明：加藤大輝 本間光平
美術：中村哲太郎 スタylist：中村もやしヘアメイク：安藤メイ 助監督：中村孝貴 編集：大川兼子
スチール：北田瑠絵 ラインプロデューサー：田中佐彦 プロデューサー：能野純 製作・配給：イハフィルムズ
助成：文化庁「ARTS for the future」2. 補助対象事業

2022年|日本|カラー|116分|ステレオ|109分 ©映画「ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい」
nuishabe-movie.com

“恋愛を楽しめないの、僕だけ？”——新世代が紡ぐ、やさしさの意味を問い直す物語。

『21世紀の女の子』『眠る虫』で注目を集めた金子由里奈監督による長編商業デビュー作にして、「おもろい以外いらんねん」「きみだからさびしい」をはじめ繊細な感性で話題作を生み出し続けている小説家・大前栗生氏にとって初の映像化作品。『町田くんの世界』以来の映画主演作となる細田佳央太、『いとみち』の駒井蓮、『麻希のいる世界』の新谷ゆづみをはじめ、フレッシュなキャストが競演。京都のとある大学の「ぬいぐるみサークル」を舞台に、“男らしさ”“女らしさ”のノリが苦手な大学生・七森、七森と心を通わす麦戸、そして彼らを取り巻く人びとを描く。

弱いひとが弱いまま生きられる場所はないのだろうか。そう思っていた時にこの原作出逢いました。

『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』には傷ついた人がたくさん出てきます。

撮影中、私自身も人間が持つ加害性や言葉について幾度も省みていました。

物語に共鳴してくれた俳優さんやスタッフ陣と、傷つくことや優しさについて、一緒に立ち止まって考えながら作り上げた映画です。

私たちは圧倒的に対話が足りてない。社会が少しでも優しくなりますように。日々の無力さに疲れてしまったあなたに観てもらいたいと願っています。

金子由里奈 (監督)

出演：細田佳央太 駒井蓮 新谷ゆづみ 細川岳 真魚 上大迫祐希 若杉風 ほか
監督：金子由里奈
原作：大前栗生『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』(河出書房新社刊)
宣伝デザイン：大島依穂亜 製作・配給：イハフィルムズ
(2022 / 109分 / 16:9 / ステレオ/カラー/日本)
📺 @nuishabe_movie



4月14日(金)ロードショー
特製ポストカード付全国共通特別鑑賞券(価格:1,500円)発売中!

JR新宿駅中央東口 徒歩2分 武蔵野ビル3F
新宿武蔵野館
03(3354)5670 shinjuku.musashino-k.jp

JR渋谷駅徒歩7分 渋谷/バルコ8階
WHITE CINE QUINTO
03(6712)7225 https://www.cinequinto.com/white/